

～いい通勤月間調査第五弾、新社会人vs先輩社会人！通勤＆働き方調査～

VOL.5：新社会人vs先輩社会人！通勤＆働き方調査 ～社会人の様々な“理想”と“現実”が明らかに～

2018年新社会人は「効率」重視！最も非効率なのは「通勤時間」!?

先輩社会人の通勤時間は、新社会人の理想の1.7倍！

通勤時間を効率化するのに先輩がオススメするアイテムはダントツで「スマホ」

先輩社会人の約9割が「スマホ定期に変えてから通勤が効率化した」

「通勤総合研究所（通勤総研）」（URL：<http://tsukin-soken.jp/>）は、2017年11月20日（イイツーキン）にちなんで、通勤にまつわる様々な調査・研究結果を発信するリサーチ型メディアとして発足しました。様々な団体・研究機関と共同で、通勤と決済にまつわる様々な調査を発表していきます。

第五弾では、獨協大学経済学部特任教授でありコラムニストの深澤真紀さんのご協力を得て、若者の通勤＆働き方を調査いたしました。先輩社会人に聞いた新卒時代の働き方や、新社会人が思う働き方の理想と、先輩社会人の現実などに焦点をあてた調査となっております。

<調査概要>

<対象> PART1～PART3

調査対象：18～29歳／一都六県在住/新社会人および社会人歴2～4年目 男女／新社会人100名、社会人歴2～4年目200名

調査方法：インターネットアンケート調査 調査期間：2018年4月6日～4月9日

※調査結果の数値は小数点以下第二位を適宜四捨五入して表示しているため、積み上げ計算すると誤差がでる場合があります。

※調査結果をご紹介いただく際には「通勤総研調べ」と注釈を記載ください。

本リリースサマリー

PART1 先輩社会人に聞いた！新卒時代の通勤＆働き方実態

仕事篇

* 新卒時代の初任給は平均**20.6万円**、残業時間は平均**1.4時間**／日

* 最もストレスに感じた場面は、**1位：業務内容(46.5%)**、**2位：人間関係(40.5%)**、**3位：職場環境(39.5%)**、**4位：通勤時間(33.0%)**

HOME篇

* 新卒時代の暮らし方 **1位：実家暮らし(49.0%)**、**2位：一人暮らし(43.0%)**、**3位：会社寮(7.0%)**

* 新卒時の家を選んだポイントは、**1位：職場への近さ(43.5%)**、**2位：家賃の安さ(42.5%)**、**3位：部屋の広さ(27.0%)**

通勤篇

* 通勤時間は、**47.6分**

* 通勤中でストレスを感じていたこと、**1位：車内の混雑(51.0%)**、**2位：電車の遅延(34.5%)**、**3位：電車マナー(29.5%)**

PART2 新社会人 vs 先輩社会人 ビジネスマンの理想と現実

* 【新社会人】2年後の理想年収は**453.5万円**、【先輩社会人】現実の年収は**356.9万円**

* 【新社会人】出世したい人は**72.0%**！【先輩社会人】になると、出世したい人は**59.0%**

* 【新社会人】**99%**が「通勤や仕事を効率化して取り組みたい」、効率が悪いと思うこと**1位：通勤時間(67.0%)**

* 【新社会人】理想の通勤時間は**27.9分**【先輩社会人】の現実の通勤時間は**49.7分**

* 【新社会人】通勤のストレス度は**6.2点**【先輩社会人】では**5.4点**

PART3 先輩社会人から新社会人へおすすめ通勤アイテム

* 【先輩社会人】通勤を効率化するための有効ツール **1位：スマホ(60.0%)**、仕事で使っているのは**1位：スマホ(72.3%)**

* 【先輩社会人】学生から社会人になって使うようになったアプリに、**通勤・移動サポート系アプリがランクイン**

* スマホ定期利用率【新社会人】**18.0%** 【先輩社会人】**24.0%**、先輩社会人のスマホ定期利用者の**72.9%**が「社会人になってから利用」。また、先輩社会人のスマホ定期利用者の**89.6%**が「通勤が効率的になった」と回答。

PART1 先輩社会人に聞いた！新卒時代の通勤&働き方実態

仕事篇

- * 新卒時代の初任給は平均**20.6万円**、残業時間は平均**1.4時間/日**
- * 最もストレスに感じた場面は、**1位: 業務内容(46.5%)**、**2位: 人間関係(40.5%)**、**3位: 職場環境(39.5%)**、**4位: 通勤時間(33.0%)**

HOME篇

- * 新卒時代の暮らし方 **1位: 実家暮らし(49.0%)**、**2位: 一人暮らし(43.0%)**、**3位: 会社寮(7.0%)**
- * 新卒時の家を選んだポイントは、**1位: 職場への近さ(43.5%)**、**2位: 家賃の安さ(42.5%)**、**3位: 部屋の広さ(27.0%)**

通勤篇

- * 通勤時間は、**47.6分**
- * 通勤中でストレスを感じていたこと、**1位: 車内の混雑(51.0%)**、**2位: 電車の遅延(34.5%)**、**3位: 電車マナー(29.5%)**

○先輩社会人の新卒時代の働き方実態



初任給

[FA] [n=200 (社会人2~4年目)]

20.6万円



暮らし方

[SA] [n=200 (社会人2~4年目)]

1位: 実家暮らし 2位: 一人暮らし 3位: 会社寮
49.0% 43.0% 7.0%



残業時間

[FA] [n=200 (社会人2~4年目)]

1.4時間/日



住んでいた家を選んだポイント

[MA] [n=200 (社会人2~4年目)]

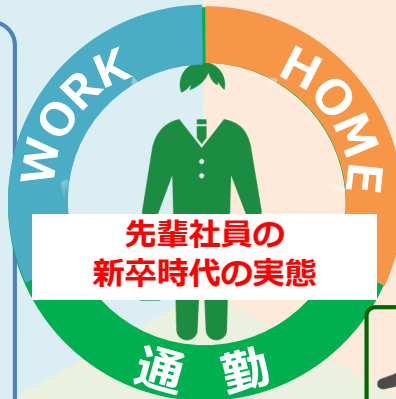
1位: 職場の近さ(43.5%)
2位: 家賃の安さ(42.5%)
3位: 部屋の広さ(27.0%)



仕事でストレスに感じたこと

[MA] [n=200 (社会人2~4年目)]

1位: 業務内容(46.5%)
2位: 人間関係(40.5%)
3位: 職場環境(39.5%)
4位: 通勤時間(33.0%)



通勤時間 (片道)

[FA] [n=200 (社会人2~4年目)]

47.6分



通勤中にやっていたこと

[MA] [n=200 (社会人2~4年目)]

1位: スマホ操作(78.0%)
2位: 音楽鑑賞(49.0%)
3位: 寝ている(42.0%)
4位: 考えごと(35.5%)
5位: ポーっとする(30.5%)
6位: 勉強をしている(16.5%)
7位: 本や新聞を読む(15.0%)
8位: 広告等を見ている(10.0%)
9位: しゃべっている(4.5%)



通勤車内でスマホでやっていたこと

[MA] [n=156 (社会人2~4年目)]

1位: SNSチェック(87.8%)
2位: ニュースサイトの閲覧(56.1%)
3位: ネットサーフィン(39.1%)
4位: ゲーム(35.9%)
5位: 動画閲覧(14.7%)
5位: 仕事のメールチェック(14.7%)



通勤時にストレスに感じた場面

[MA] [n=200 (社会人2~4年目)]

1位: 車内の混雑(51.0%)
2位: 電車の遅延(34.5%)
3位: 電車マナー(29.5%)
4位: 駅の混雑(28.0%)
5位: 改札の混雑(17.0%)
6位: 券売機の混雑(4.5%)

PART2 新社会人 vs 先輩社会人 ビジネスマンの理想と現実

- *【新社会人】2年後の理想年収は**453.5万円**、【先輩社会人】現実の年収は**356.9万円**
- *【新社会人】出世したい人は**72.0%**！【先輩社会人】になると、出世したい人は**59.0%**
- *【新社会人】**99%**が「通勤や仕事を効率化して取り組みたい」、効率が悪くと思うこと**1位：通勤時間(67.0%)**
- *【新社会人】理想の通勤時間は**27.9分**【先輩社会人】の現実の通勤時間は **49.7分**
- *【新社会人】通勤のストレス度は**6.2点**【先輩社会人】では**5.4点**

新社会人の理想

先輩社会人の現実

2年後の年収の理想と現実

新社会人の**2年後の理想年収**は

453.5万円 **96.6万円の差** **356.9万円**

[FA] [n=100 (新社会人)]

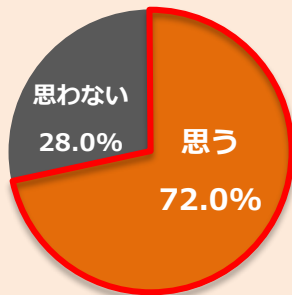
先輩社会人の**現実の年収**は

[FA] [n=200 (社会人2~4年目)]

出世へのモチベーションの理想と現実

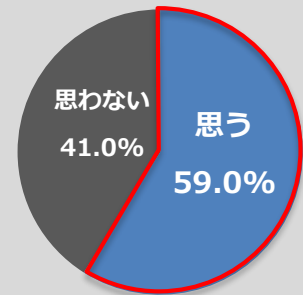
Q1：**出世したい**と思いますか？

新社会人は**出世したい**と



[SA] [n=100 (新社会人)]

先輩社会人は**出世したい**と



[SA] [n=200 (社会人2~4年目)]

13.0ptの差

仕事へのモチベーションの理想と現実

Q2：**仕事へのモチベーション度**を教えてください。
(10点満点、モチベーションが高い=10点/モチベーションが低い=0点)

新社会人の**モチベーション度**は

6.0点

[SA] [n=100 (新社会人)]

先輩社会人の**モチベーション度**は

5.0点

[SA] [n=200 (社会人2~4年目)]

1.0点の差

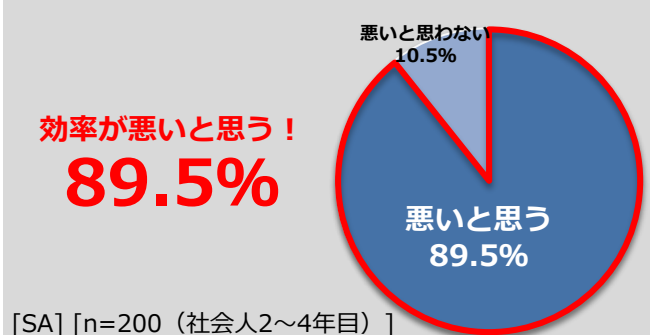
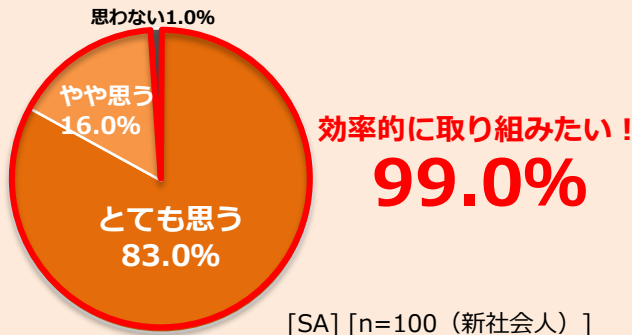
新社会人は、先輩社会人と比べ年収、出世欲や仕事へのモチベーションも高い傾向

新社会人の理想

先輩社会人の現実

Q3:働くにあたり、**通勤や仕事を効率化して取り組みたい**と思いますか。

Q4:現在の働き方で、**通勤や仕事の効率が悪く**思うことがありますか。

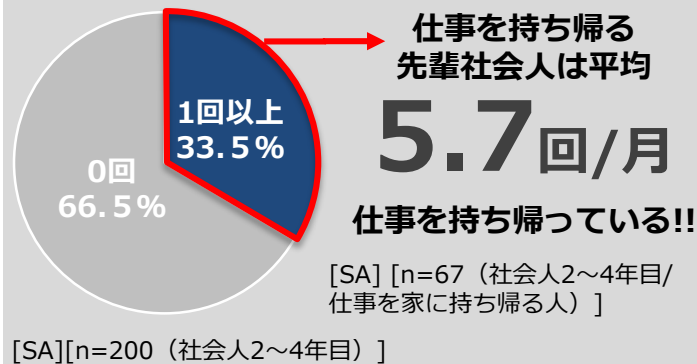


新社会人の99%は、通勤や仕事に効率的に取り組みたい。しかし、先輩社会人は89.5%も効率が悪く思っている！

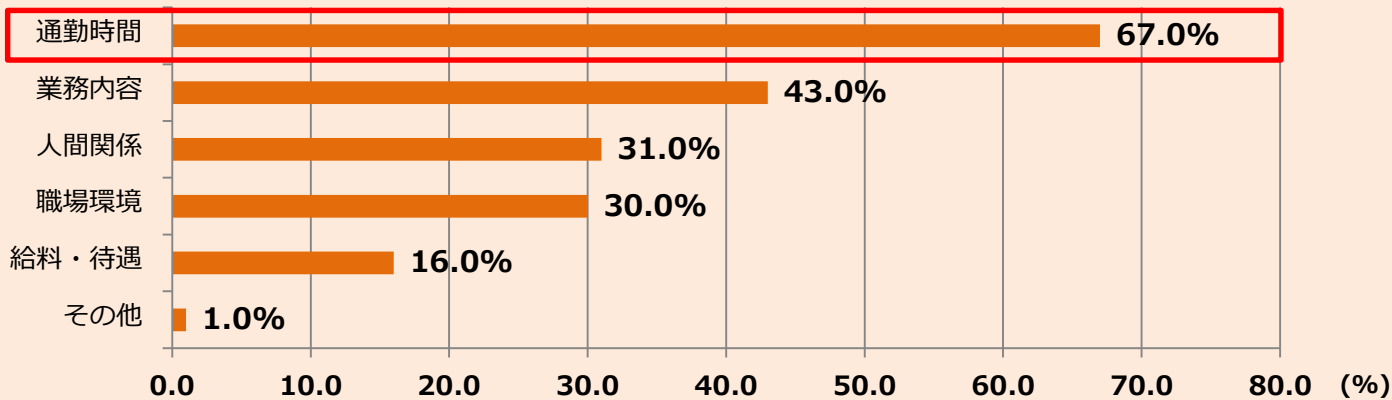
**効率重視の新社会人が
効率が悪い
と思う場面は！？**

先輩社会人の現実は…

Q5:月に何回、**仕事を家に持ち帰りますか。**



Q6:**効率が悪いと思う**のはどんな場面ですか。 [MA] [n=100 (新社会人)]



新社会人が効率が悪いと思うこと1位は「通勤」67.0%!!

通勤時間の理想と現実

新社会人の理想の通勤時間は

27.9分

[FA] [n=100 (新社会人)]

21.8分の差

先輩社会人の現実の通勤時間は

49.7分

[FA] [n=200 (社会人2~4年目)]

通勤ストレスの差

Q7: 通勤時のストレス度を教えてください。
(10点満点、ストレスが高い=10点/ストレスが低い=0点)

新社会人のストレス度は

6.2点

[SA] [n=100 (新社会人)]

0.8点の差

先輩社員のストレス度は

5.4点

[SA] [n=200 (社会人2~4年目)]

**先輩社会人の通勤時間は、新社会人の理想の1.7倍も！！
新社会人は、先輩社会人より通勤にストレスを感じやすい傾向**

新社会人の2年後の理想年収は453.5万円であるのに対し、先輩社会人の現実の年収は356.9万円と、約96.6万円の差が出ています。また、先輩社会人で「出世したい」と思う人は59.0%ですが、新社会人は「出世したい」が72.0%と、新社会人のほうが出世欲が高いことが伺えます。

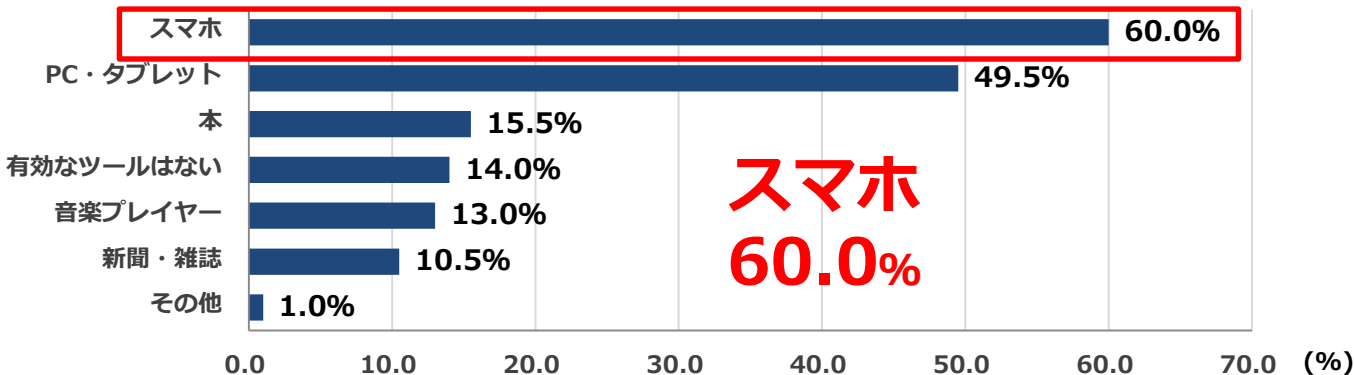
さらに、新社会人は99%の人が「通勤や仕事を効率化して取り組みたい」と思っていることが分かりました。2018年の新社会人は効率を重視する傾向があるようです。一方で先輩社会人の現実を聞いてみると、「通勤や仕事の効率が悪いと思う」が約90%と、現実の厳しさが伺えます。新社会人が最も効率が悪いと思っている場面は「通勤時間」で、先輩社会人と比較しても、通勤にストレスを感じる人が多いようです。

PART3 先輩社会人から新社会人へおすすめ通勤アイテム

- * 【先輩社会人】通勤を効率化するための有効ツール 1位:スマホ(60.0%)、仕事で使っているのは1位:スマホ(72.3%)
- * 【先輩社会人】学生から社会人になって使うようになったアプリに、通勤・移動サポート系アプリがランクイン
- * スマホ定期利用率【新社会人】18.0% 【先輩社会人】24.0%、先輩社会人のスマホ定期利用者の72.9%が「社会人になってから利用」。また、先輩社会人のスマホ定期利用者の89.6%が「通勤が効率になった」と回答。

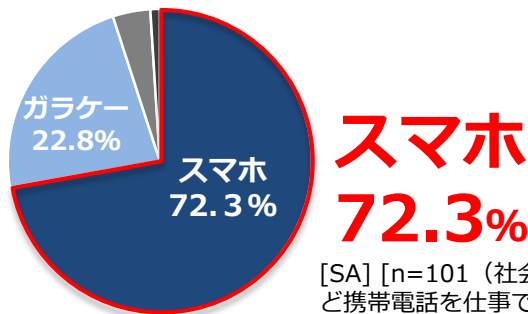
Q8:【先輩社会人】通勤を効率化するためには、どんなツールが有効だと思いますか。

[MA] [n=200 (社会人2~4年目)]



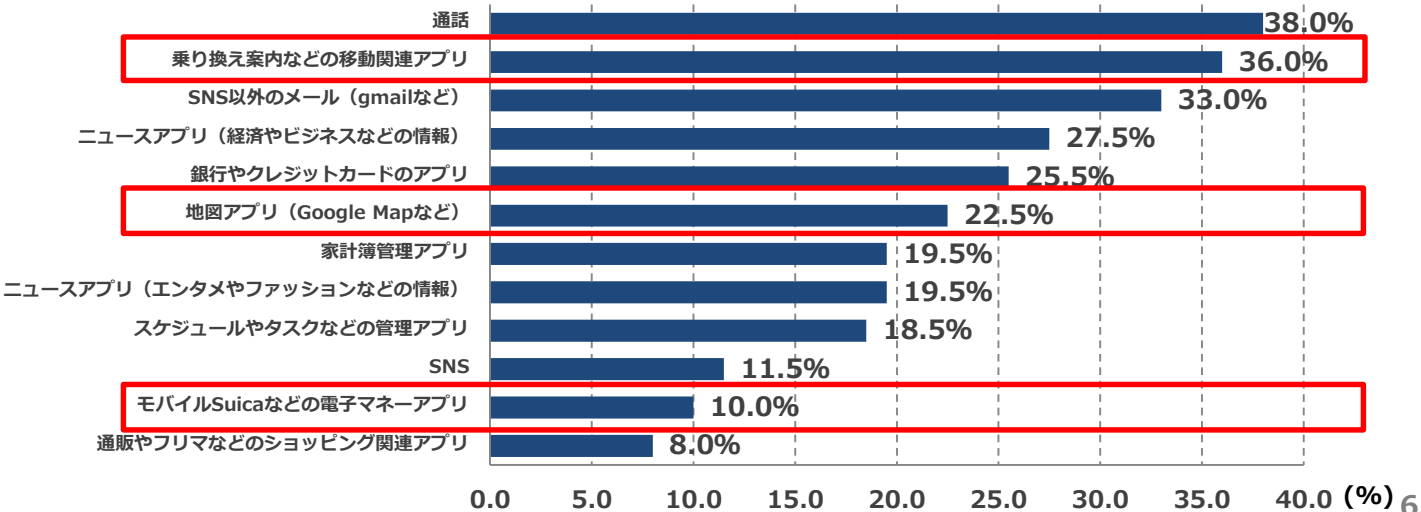
Q9:【先輩社会人】仕事用で使っているのはスマホとガラケーのどちらですか。

どちらも 4.0% その他 1.0%

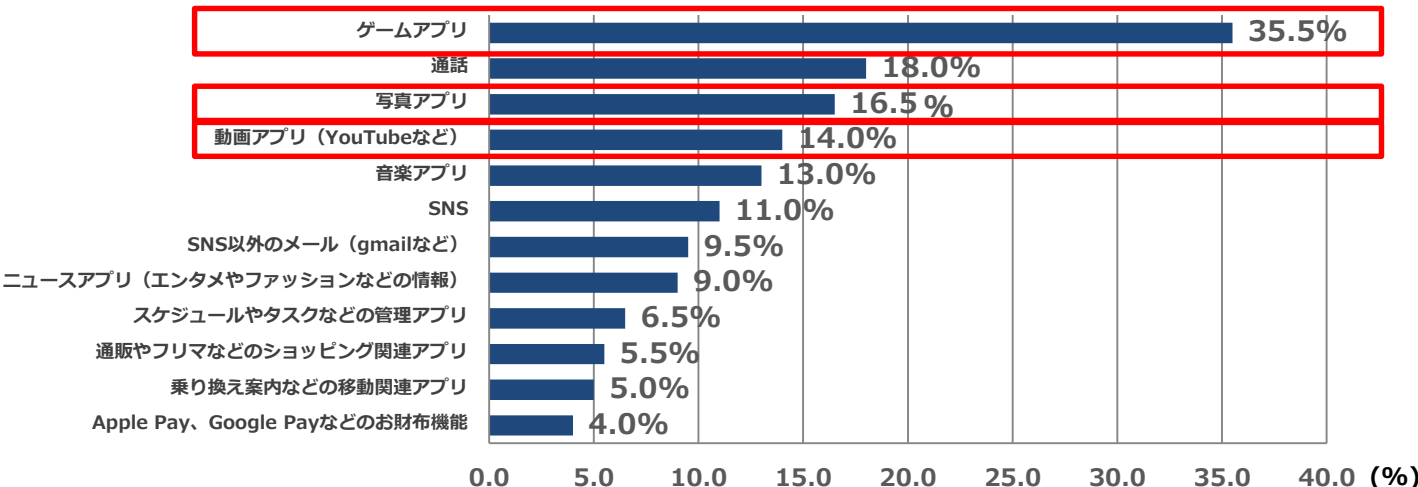


[SA] [n=101 (社会人歴2~4年目/スマホなど携帯電話を仕事で利用している)]

Q10:【先輩社会人】学生から社会人になったとき、学生時と比べてスマホで使うようになった機能やアプリはなんですか。 [MA] [n=200 (社会人2~4年目)]



Q11:【先輩社会人】学生から社会人になったとき、学生時と比べてスマホで**使わなくなった機能やアプリ**はなんですか。 [MA] [n=200 (社会人2~4年目)]

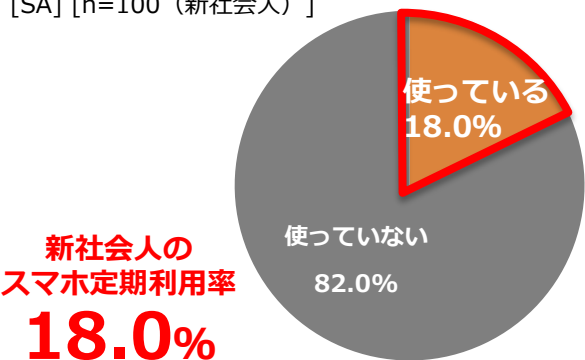


通勤の効率化アイテムは“スマホ”。学生から社会人になると、乗り換えや地図アプリ、電子マネーアプリなどの通勤/移動サポート機能を利用する傾向にあり。
一方で、ゲームアプリや写真アプリ、動画アプリなどの娯楽系アプリの利用は減少。

Q12: **スマホ定期 (モバイルSuica等)** を使っていますか。

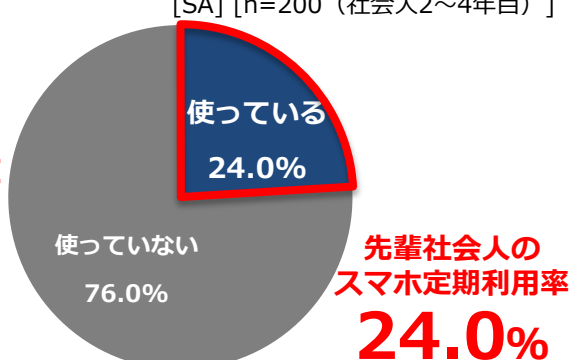
新社会人

[SA] [n=100 (新社会人)]



先輩社会人

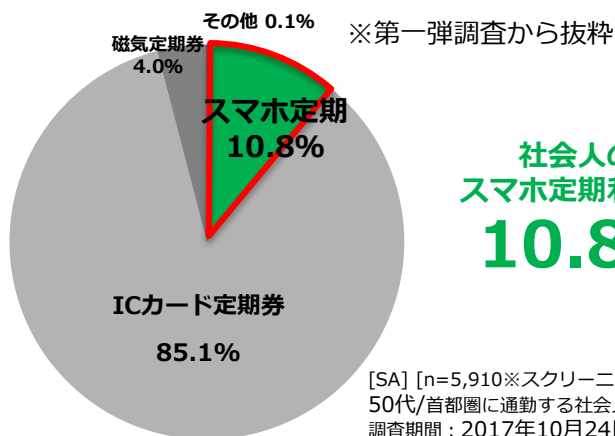
[SA] [n=200 (社会人2~4年目)]



6.0ptの差

ちなみに・・・

社会人全体のスマホ定期利用率



7.2ptの差

新社会人のスマホ定期利用率 **18.0%**

13.2ptの差

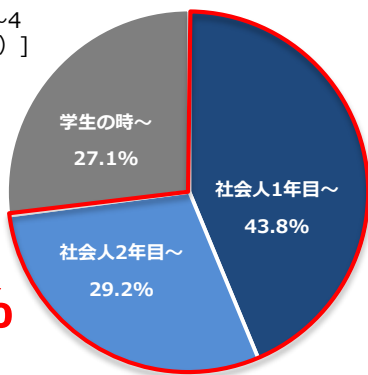
先輩社会人のスマホ定期利用率 **24.0%**

[SA] [n=5,910※スクリーニング時点 (20~50代/首都圏に通勤する社会人/一都三県在住)]
調査期間: 2017年10月24日~10月27日

スマホ定期利用率は、先輩社会人24.0%、新社会人18.0%と6ptの差に。
1~4年目の社会人は、社会人全体と比べスマホ定期利用率が高い傾向

Q13.【先輩社会人】いつからスマホ定期
(モバイルSuica等)を使っていますか。

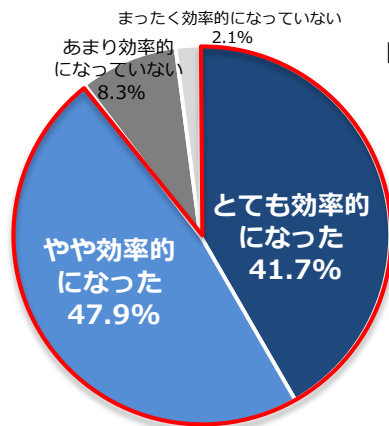
[SA] [n=48 (社会人2~4
年目/スマホ定期利用者)]



社会人から
72.9%

Q14.【先輩社会人】スマホ定期(モバイルSuica等)を
使うようになってから、通勤は効率的になりましたか。

[SA] [n=48 (社会人2~4年目
/スマホ定期利用者)]



効率的になった
89.6%

スマホ定期利用の先輩社会人の内、89.6%が通勤が効率的になったと回答。

先輩社会人スマホ定期利用別 仕事満足度&モチベーション

仕事モチベーションの差

先輩社会人のスマホ定期未利用者

4.8点

0.6点の差

先輩社会人のスマホ定期利用者

5.4点

[FA] [n=152 (社会人2~4年目/スマホ定期未利用者)]

[FA] [n=48 (社会人2~4年目/スマホ定期利用者)]

仕事満足度

先輩社会人のスマホ定期未利用者

4.7点

0.8点の差

先輩社会人のスマホ定期利用者

5.5点

[FA] [n=152 (社会人2~4年目/スマホ定期未利用者)]

[FA] [n=48 (社会人2~4年目/スマホ定期利用者)]

先輩社会人の中で、スマホ定期を利用している人は、利用していない人より
仕事モチベーション、仕事満足度ともに高い傾向

先輩社会人の6割が「通勤を効率化するために有効なツール」は「スマホ」だと回答しています。学生から社会人になったときにスマホで使うようになった機能やアプリは、「乗換案内」などの通勤・移動関連アプリや、「モバイルSuica」などの電子マネーアプリが多いようです。

スマホ定期利用率を調査すると、社会人全体では10.8%の利用率に留まりますが、新社会人では18.0%、先輩社会人にいたっては24.0%という結果になりました。若者世代はスマホ定期の利用率が高いことが伺えます。さらに、スマホ定期を利用している先輩社会人は、そうでない人より仕事へのモチベーションや満足度が高いことが分かりました。

<深澤真紀さんよりコメント>

●スマホでイライラが解消

カフェでノートパソコンを開いているときは「仕事ができる」ように見えてかっこいいけれど、町中や電車内でスマホを見ている姿は、少しだけかっこわるいような気もしてしまうものです。もちろん歩きスマホなどのマナー違反は論外ですが、一方でスマホにも様々なメリットがあるのです。

たとえば、2013年のシチズンの意識調査(*)によると、10年前の2003年(まだスマホは登場していませんでした)に比べ、役所や電車での「待ち時間」にイライラする人は減っているという結果が出ていて、これは「スマホなど携帯端末の普及が、イライラ解消に役立っている」からと分析されています。

たしかに人との待ち合わせや銀行のATMの行列など、以前だったら時間を潰すために文庫本でも持っていなければなりませんでした。今はスマホがあれば、ニュースを読んだり、ゲームをしたり、10分くらいはあっという間にたってしまう。そしてもっとも時間の無駄に感じる通勤こそ、スマホは本当に便利なものです。

●20世紀の通勤風景をふりかえると

かつての通勤と言えば、新聞や雑誌などを持ち込んで、どんな混雑した車内でも職人技のように読むサラリーマンなどがいたものです。見事ではありませんでしたが、ちょっとだけ邪魔だった。さらに80年代のウォークマン時代には、盛大に音漏れさせながら音楽に没頭する若者もいて、これもまたうるさかった。

そして90年代のケータイ時代には、車内でも平気で通話を始めてしまう人が老若男女を問わず現れ、やはり迷惑なものでした。それに比べればスマホは、歩きスマホの問題はありますが、車内では邪魔になりにくい存在です。

●通勤時間にスマホを上手に活用する

さて今回の調査では、「新社会人の効率が悪いと思うこと」の1位は「通勤時間」という結果が出ています。コスパ重視や効率重視は、最近の若者の特徴だとも言えるでしょう。一方で現実の若者社員は通勤や仕事に対し「効率が悪い」と認識しているという結果が9割近くあったことから、まだまだ通勤時間をうまく利用できていないのかもしれない。

通勤時間を有効活用するには、やはりスマホが重要です。スマホ定期を利用してオートチャージすれば駅の券売機に並ぶ必要もありません。そして効率よく通勤時間を過ごすには、ニュース、天気、地図、乗換、電子書籍、英語学習、ゲームなど、通勤用のアプリをまとめるフォルダを作るのもいいでしょう。

●スマホやアプリを使いこなす若手社員になろう

ニュースを読むときには、芸能ニュースを3本読んだら、科学ニュースや国際ニュースなど、自分の苦手ジャンルのニュースも3本読むなど、自分なりにルールを決めるとよいでしょう。10分ゲームをしたら10分英語学習をするなど、時間つぶしと勉強を意識して配分することも大事です。

また、世界中で広がっているキャッシュレスの流れは、スマホなしには語れません。電子マネーやスマホ定期など、さまざまなサービスを自ら消費者として使うことで、通勤時間を効率的に過ごせるだけでなく、ビジネスの場でも具体的な提案ができるようになります。スマホやアプリに疎い上司にとっても、「使いこなしている若手社員」として、頼りになる存在になれるのです。

*ビジネスパーソンの「待ち時間」意識調査(シチズン)

<http://www.citizen.co.jp/research/time/20130603/index.html>



●深澤真紀(ふかさわ・まき)

獨協大学経済学部特任教授、コラムニスト。企画会社タクト・プランニング代表取締役社長、日本文藝家協会会員。

1967年東京生まれ、早稲田大学第二文学部社会専修卒業。在学中に女子学生のためのミニコミ「私たちの就職手帖」副編集長をつとめる。社会科学系、サブカル系、IT系、生活系など複数の出版社で編集者をつとめ、1998年企画会社タクト・プランニングを設立、代表取締役社長に就任、現職。2014年、中央大学文学部兼任講師と淑徳大学人文学部客員教授に就任。2017年、獨協大学経済学部特任教授に就任、現職。2009年「草食男子」で流行語大賞トップテンを受賞。

「とくダネ!」「ゴゴスマ」「大竹まことゴールデンラジオ」などのコメンテーターもつとめる。

公式サイト <http://www.tact-planning.com>